

十島村防災行政無線（同報系）デジタル改修工事に係るプロポーザル実施要領

1 本要領の目的

本要領は、「防災行政無線（同報系）デジタル改修工事」についての最適な設計・施工事業者の選定を、価格のみによる競争によらず、企画力、技術力、実績等の点から選定を行うプロポーザル方式で実施するにあたって、必要な事項を定めるものとする。

2 本業務の委託目的

十島村では、老朽化した防災行政無線（同報系）設備の更新とアナログ波からデジタル波への電波移行を行うため、専門的な知識やノウハウの豊富な事業者の支援を受けることにより、当該設備の充実や地理的な課題を解決し、デジタル改修工事を実施することを目的とする。

3 業務概要

(1) 件 名

十島村防災行政無線（同報系）デジタル改修工事

(2) 履行期間

ア 工事契約締結日の翌日から平成 32 年 3 月 31 日

(3) 履行場所

十島村内全域及び関係する場所

(4) 業務内容

下記の仕様書・設計図面を要求水準とする。

尚、同等以上の仕様提案、合理的な代替案の提案については可能とする。

ア 「防災行政無線（同報系）デジタル改修工事発注仕様書

（以下「発注仕様書」という。）

イ 「防災行政無線（同報系）デジタル改修工事实施設計業務委託設計図面」

（以下、「設計図面」という。）

(5) 応募価格要件

ア 防災行政無線（同報系）デジタル改修工事

上限 481,489,000 円（消費税は含まない。）

※ 上記上限額は、予定価格ではありません。

上記上限額は、本業務に掛かるすべての費用を含むものとする。

応募事業者は、上記上限額を超えない範囲で見積りを提出すること。

4 プロポーザルの日程

(1) 公募開始	平成 30 年 10 月 3 日(水)
(2) 参加申込書提出期限	10 月 10 日(水)
(3) 質問締切日	10 月 10 日(水)
(4) 質問に対する回答期限	10 月 12 日(金)
(5) 技術提案書提出締切日	10 月 19 日(金)
(6) 第一次審査結果通知	10 月 25 日(木)
(7) 第二次審査（ヒアリング）	11 月 1 日(木)
	※説明 20 分、質疑 10 分、撤去 5 分
(8) 第二次審査結果通知	11 月上旬

5 参加資格

本プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる要件の全てを満たすこと。

- (1) 平成 30 年度十島村建設工事請負等競争入札参加資格者名簿において、電気通信工事業として登録されているもの。
- (2) 地方自治法施行令第 167 条の 4 の 1 項の規定に該当しないものであること。
- (3) 十島村建設工事等の契約に関する指名停止措置要綱に規定する指名停止措置を受けていないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他の十島村防災行政無線（同報系）デジタル改修工事を行うのにふさわしくない者でないこと。
- (5) 金融機関の取引が停止されている等、経営不振の状況にないこと。
- (6) 建設業法第 15 条の電気通信工事にかかる特定建設業の許可を得ており、かつ最新の経営審査事項結果の電気通信工事の総合評点が 1,000 点以上であること。
- (7) 建設業法第 26 条の監理技術者（電気通信工事）の資格を有する専任者を配置できるものであること。なお、当該配置する技術者は、本参加資格確認申請のあった日において、3 ヶ月以上の直接的かつ恒常的な雇用関係にあることを必要とする。
- (8) 過去において同種工事における同規模（5 億円以上）の元請完工実績（出資比率 30% 以上の J Vを含む）を有していること。（工事が完成したもので、かつ財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報システム（以下「CORINS」という。）に登録されたものに限る。）
- (9) 総務省より直接免許をうけた、デジタル同報系(60MHz 帯)市町村防災行政無線の実験局（TYPE2）を自ら所有し、本業務において電波伝搬調査に使用する実験局は、自らが製造したもので、電波測定を行うこと。
- (10) 2 者の構成員からなる任意に結成された特定共同企業体（以下「JV」という。）にて参加する場合は、JV の代表者となる構成員(以下「代表者」という。)は、上記(1)～(9)

の参加資格を有し、構成員のうちで出資比率が最大のものであること。

(11)JV の代表者以外の構成員は、次に掲げる要件を満たしていること。

ア 鹿児島県内業者で鹿児島県知事より「電気工事業」と「電気通信工事業」の許可を受けていること。

イ 過去において、デジタル防災行政無線（同報系）工事の元請完工実績（出資比率 30%以上の JV 含む。）を 1 件以上有していること。（工事が完成したもので、かつ財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報システム（以下「CORINS」という。）に登録されたものに限る。）

ウ 上記(1)～(5)、(7)の参加資格を満たし、出資比率が 20%以上の者であること。

(12)JV の構成員は、当該 JV 以外の JV の構成員として本件プロポーザルに参加することはできない。

6 選定方法

(1) 実施方式

公募型プロポーザル

(2) 審査方法

別紙「防災行政無線(同報系)デジタル改修工事 落札者決定基準」による。

7 手続き等

(1) 応募方法

本プロポーザルに参加を希望する事業者は、「参加申込書」(様式第 1 号、または第 6 号)を以下のとおり提出すること。

ア 応募期間 平成 30 年 10 月 10 日(水)午後 5 時まで

※ ただし、土日祝日を除く開庁日のみとする。

イ 応募方法 窓口受付(郵送・メール・FAX は不可)

ウ 受付場所 鹿児島市泉町 14 番 15 号

十島村役場 3 階 総務課政策推進室企画消防係

(2) 参加資格の可否及び喪失

参加申込書を提出した者は、本工事プロポーザルへの参加資格を有するものとする。

ただし、次の各号のいずれかに該当したときは、参加資格を喪失するものとする。

ア 本手続きにおいて、提出した書類等に虚偽の記載をし、またはその他不正な行為をしたとき。

イ 本事業の契約締結を行うまでの期間中に、5 項「参加資格要件」に該当しなくなったとき。

(3) 参加辞退

参加申込書を提出したが、その後、辞退を希望する者は、様式 2 に必要事項を記載の上、12 項「連絡先」へ持参または電子メールで送付すること。なお、電子メール送付した場合は、その受信確認の電話を行うこと。

(4) 提案書等に関する質問および回答

参加申込書の提出を行った後、提案書等に関する質問がある場合は、「質問書」(様式第 3 号)に内容を簡潔に記入のうえ、以下のとおり提出すること。

ア 質問書提出締切

平成 30 年 10 月 10 日(水)午後 5 時まで

イ 質問方法

質問書を 12 項「連絡先」へ、電子メールに添付し、送付すること。

※ 電子メールの件名は「【貴社名】プロポーザル質問書」とし、word データのまま添付ファイルで送付すること。(PDF などへ変換しないこと)

※ 電話や来訪による口頭での質問や期限を過ぎた質問は、一切受け付けない。

ウ 回答方法

平成 30 年 10 月 12 日(金)までに、全ての応募者に質問者名を伏せたうえで、電子メールにて送付する。

(5) 提案書の提出期限等

参加申込書の提出を行った後、以下の内容に従って提案書等を提出すること。

ア 提案書提出締切 平成 30 年 10 月 19 日(金)午後 3 時まで

※ ただし、提出受付は、土日祝日年末年始を除く開庁日のみとする。

※ 提出した書類は、一切の差換えができないものとする。

イ 提出方法 窓口受付(郵送・メール・FAX は不可)

ウ 提出部数 正：1 部 (表紙及び各見積に社印が押印されたもの)

副：10 部 (正の写し)

データ：1 部 (提案書 1 式を PDF ファイルにし、CD で提出する。)

エ 受付場所 鹿児島市泉町 14 番 15 号

十島村役場 3 階 総務課政策推進室企画消防係

8 提案書の作成

次に求める資料を A4 判で作成し、紙ファイル (A4 判) に以下の順に綴じて提出すること。図面等は A3 判でも可とするが、A4 判に折込むこと。

紙ファイルの色は、参加者ごとに村が指定するものとする。

(1) 経営規模等評価結果通知書

経営規模等評価結果通知書 (国土交通省認可) で「電気通信」の総合評価値が判断できる写しを提出すること。

(2) 同種工事实績

過去 5 年以内のデジタル同報系防災行政無線整備工事实績を様式第 4 号に記入し、提出すること。3 件以上の実績がある場合は、契約金額の大きいものから順に記載すること。なお、工事が完了していない契約については、記載しないこと。また、記載した工事案件について、コリンズの写しも添付すること。

(3) 配置予定技術者の実績

配置予定技術者の過去 5 年以内のデジタル同報系防災行政無線整備工事实績を様式第 5 号に記入し、記載した工事案件について、コリンズの写しも添付すること。なお、工事が完了していない契約については、記載しないこと。

(4) 配置予定技術者の資格

配置予定技術者の監理技術者証の写しを提出すること。

(5) 施工体制

本業務の施工体制表を作成し、提出すること。なお、体制表の様式は自由とする。

(6) 技術提案

ア 設計に係る提案

応募業者が計画する設計概要を A4 判 4 頁以内（様式自由）で提案すること。
その中で、回線設計の方法、要求水準を大きく上回る提案など、村にとって有益と思われる内容は、特筆して示すこと。

イ 工事に係る提案

応募業者が計画する工事概要を A4 判 4 頁以内（様式自由）で提案すること。
その中で、期間中の住民への配慮、村の業務に対する配慮、工事の工夫案などがあつた場合は、特筆して示すこと。

ウ 運用に係る提案

応募業者が計画するシステムを導入した場合、システムの操作性・利便性・拡張性さらには、役場職員の業務効率化が期待できる内容などがあれば、A4 判 4 頁以内で提案すること。

(7) 保守提案

ア 要求水準

村が求めるサービス内容は以下の通り。

① 定期点検

- ・ 年 1 回
- ・ 対象装置は、親局設備（操作卓、他）、中継局設備、再送信子局設備、屋外子局、支持柱（装柱品含む）、Jーアラート、その他提案業者が主要と判断される装置。

② 障害時対応

- ・ 24 時間 365 日受付対応。

イ サービスレベルの提案

前項アにおける要求水準において、応募業者の実現可能な保守内容を A4 判 1 頁で提案すること。その中で、要求水準を上回る内容、下回る内容を明確に示すこと。

ウ 保守見積の提出

導入後 1 年間は瑕疵期間とし、原則無償の保守対応とする。その後発生する 5 年間分の保守点検費用を、前項イで応募業者が示したサービスレベルの内容で算出すること。なお、見積様式は自由とし、見積書には消費税は含めないこととする。

(8) 事業費見積の提出

3 項(5)「応募価格要件」に示した範囲で、工事事業費見積を作成すること。仕様等がない応募業者が提案した追加機能や提案工事など、前項「技術提案」の提案内容に基づき、関連費用も含めて算出すること。また、見積様式は自由とするが、極力詳細に項目(品目)を洗い出し、その数量・単価も示すこと。見積書には、消費税は含めないこととする。

(9) 会社概要

応募業者の会社概要等を提出すること。

9 採用案決定後の業務

村は、選定委員会による最優秀提案者及び優秀提案者の選定結果をもとに、契約候補者及び次点者を決定し、契約交渉の相手方とする。ただし、最優秀提案者が辞退その他の理由で契約の締結に至らなかった場合は、次点者を契約交渉の相手方とする。

10 参加者の費用負担

参加申込、技術提案書等の作成、提出等に係る費用は参加者の負担とする。

11 その他

(1) 提案の著作権は、各応募業者に帰属する。ただし、村が必要とするときは、応募業者と協議の上、無償で使用することができるものとする。

(2) 本プロポーザルにおいて、その公正な執行を妨げた者、虚偽の提案を行った者、又は公正な価格の成立を阻害し、若しくは不正な利益を得ようとした者は、失格とする。

(3) 本プロポーザルに係る提出物は返却しないこととし、村の所定の保存年限経過後に廃棄する。

(4) 応募業者の採点は、公表することができるものとする。

(5) 提出された書類に、つぎのいずれかに該当する場合は失格とする。

ア 提出書類に不足または虚偽の内容があった場合。

イ 記載すべき事項の全部または一部が記載されていないもの。

ウ 見積もり金額が工事事業費の上限額を超えているもの。

(6) 第二次審査（ヒアリング）には第一次審査に通過した応募業者（3者程度の予定）が参加者3名以内にて実施すること。提案資料の説明は監理技術者が実施すること。

(7) 第二次審査の開始時間は村より別途通知するが、説明20分、質疑10分、設営撤去5分以内とする。

12 連絡先

〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町 14 番 15 号

鹿児島県十島村総務課政策推進室企画消防係

電話 099-222-2101

FAX 099-223-6720

E メール tokarasuisin@tokara.jp